

平成23年度 施策評価

整理番号 15

内部評価結果

施策名	共に生きる障害者福祉の充実
------------	----------------------

所管部局	所管部局長の氏名
健康長寿福祉部	中村 悦雄

1. 総合計画(後期基本計画)

基本方針	(政策)	健やか安心都市	計画項目	(施策)	共に生きる障害者福祉の充実
施策目的	(何を対象に、どのような状態にしたいのか)	1.障害がある人もない人も、互いの個性を認め合い尊重することで、共に地域で働き、安心・快適な生活を送ることができる「共生社会」の実現を目指す。 2.相談支援体制の充実を図ることで、障害者や家族のニーズに対応したサービスの確保と内容の充実を目指す。			

2. めざす目標

めざす目標	指標名	総合計画策定時 (H17)		後期基本計画策定時 (H20)		平成22年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
		年度	年度	年度	年度	年度	年度		
障害者のためのケア体制と安心できるサービス体制を確立します	ホームヘルプサービス提供事業者数	6業者	H16	6業者	H20	7業者	H22	10業者	H26
	ショートステイサービス提供施設数(日中一時含む)	7施設	H16	7施設	H20	7施設	H22	10施設	H26
	グループホーム・ケアホーム設置数	1カ所	H16	3カ所	H20	5カ所	H22	6カ所	H26

3. 評価結果一覧

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		評価結果									
			H22決算額	H23予算額(一般財源)	事務事業評価						施策評価			
					根拠法令	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	今後の方向性	施策貢献度	今後の方向性
1 障害者の理解と社会参加の促進	1 障害者団体活動支援事業 障害者の自立促進・社会参加活動、学習会や交流会など障害理解の促進活動団体に対して支援	障害者福祉課	1,586	1,586 (1,586)	市規定	単費	サービス	団体	補・負	2	特定サービス	現状維持	A	統合(整理)
2 福祉サービスの充実	1 身体障害者手帳等交付事業 身体障害者手帳等の交付を受けるために必要な医師の診断書料の一部を助成(377件)	障害者福祉課	753	744 (744)	市規定	単費	サービス	市民	補	5	生活支援安全網	終了・廃止	B	終了・廃止
	2 デイサービス運営助成事業 障害児デイサービス事業者が行う障害の早期発見、療育の実施に補助金交付	障害者福祉課	4,437	4,933 (4,933)	市規定	単費	サービス	法人	補	2	特定サービス	現状維持	A	縮小
	3 心身障害者扶養共済制度掛金助成事業 心身障害者扶養共済制度の1口目の掛け金のうち2分の1を助成(3月交付19人、9月交付17人)	障害者福祉課	809	1,228 (1,228)	市規定	府・一部	サービス	市民	補	5	生活支援安全網	現状維持	A	縮小
	4 共同作業所等入所訓練事業 共同作業所の指導訓練事業及び通所者の交通費、給食費を補助	障害者福祉課	28,077	5,524 (5,524)	府規定	府・一部	サービス	市民	補	5	生活支援安全網	現状維持	A	現状維持
	5 在宅難病患者福祉事業 在宅の難病患者等に対し日常生活用具の給付(電気式たん吸引器、意志伝達装置、ハルスオキシメーター)	障害者福祉課	185	756 (202)	国規定	府・一部	サービス	市民	委・扶	5	生活支援安全網	統合(整理)	A	統合(整理)
	6 障害者等手当支給事業 国制度の障害児福祉手当及び特別障害者手当、市独自制度の介護支援金(@10万円)を支給	障害者福祉課	31,823	33,610 (9,679)	国規定	国・一部	サービス	市民	扶	5	生活支援安全網	現状維持	A	縮小
	7 じん臓機能障害者通院交通費助成事業 慢性透析療法の必要がある障害者(57人)の交通費と医療機関通院証明書料の一部を助成	障害者福祉課	2,811	3,163 (3,163)	市規定	単費	サービス	市民	補	5	生活支援安全網	現状維持	A	現状維持
	8 障害者福祉施設整備助成事業 社会福祉法人に対して施設整備における借入金の元金償還額を助成	障害者福祉課	5,601	5,601 (5,601)	市規定	単費	施設整備	法人	補	2	特定サービス	現状維持	A	現状維持
	9 障害福祉サービス事業 心身の状況や生活環境に応じて自ら選択した必要な障害福祉サービスの給付その他の支援	障害者福祉課	1,050,526	975,887 (250,414)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	10 自立支援医療事業 身体障害者の障害を軽減する医療等に対して医療費の一部を助成	障害者福祉課	12,459	8,005 (2,414)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	11 補装具事業 障害者の身体機能を代替する補装具の給付費用を負担	障害者福祉課	11,947	11,672 (2,920)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
	12 地域生活支援事業 障害者が地域の中で自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう総合的に支援	障害者福祉課	156,652	157,432 (88,510)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	AA	現状維持
4 障害者雇用の促進	1 障害者就労支援事業 障害者の就労促進と定着に向け就労支援相談員を配置し支援	障害者福祉課	3,335	1,477 (948)	国規定	府・一部	サービス	市民	委・補・負	5	生活支援安全網	現状維持	A	現状維持
計			1,311,001	1,211,618 (377,866)										

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	05障害者団体活動支援事業
細事業名	01 障害者団体活動支援事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
1,586千円		1,586千円	0千円	100.0%
目的	障害者団体や関係者で構成する団体の活動に対して、団体の自発的な活動を支援することにより、障害者や関係団体等の意識改革や社会参加の推進に努める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>障害者の連携・自立促進・社会参加を目指した活動、学習会や交流会など幅広く障害理解の促進活動を行っている団体に対して支援を行い、障害のある方の生きがいづくりや福祉の向上を図れた。</p> <p>負担金 200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人丹後視力障害者福祉センター後援会負担金 丹後地域2市2町で、丹後視力障害者福祉センターにおける運営助成により、視覚障害者の福祉の向上に努めた。 <p>補助金 1,386千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府視覚障害者協会京丹後支部活動補助金（会員数：60人） 81千円 毎月、研修会や視察・料理講習などの活動に取り組んだ。 ・京丹後市身体障害者団体連合会活動補助金（会員数：322人） 437千円 毎月、定例会を開き、会員の相談活動やスポーツ交流、車いす駅伝を通じて障害者理解に努めた。 ・北丹後精神障害者家族会活動補助金（会員数：17人） 16千円 毎月、交流会を開催し、会員の情報交換や相談活動を行った。 ・手をつなぐ親の会連絡協議会活動補助金（会員数：430人） 828千円 障害児の週休5日制事業や相談活動などを行い、福祉の向上に努めた。 ・聴覚障害者協会京丹後支部補助金（会員数：15人） 24千円 毎月、定例会を開き、会員の相談活動や福利厚生に努めた。 			
主な財源				
評価・課題等	・各障害者団体に活動助成することにより、障害者団体の育成と社会参加の推進及び市民の障害への理解の促進を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	01身体障害者手帳等交付事業
細事業名	01 身体障害者手帳等交付事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
753千円		908千円	155千円	82.9%
目的	障害のある方の経済的負担を軽減するため、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けるために必要な医師の診断書料の一部を助成する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付又は再交付を受けるために必要な診断書に要する経費に対して、助成金として1件につき2千円を限度として交付した。</p> <p>身体障害者手帳交付申請用診断書料助成金 682千円</p> <p>助成件数：341件（うち新規：254件）</p> <p>精神障害者手帳交付申請用診断書料助成金 71千円</p> <p>助成件数：36件（うち新規：13件）</p>			
主な財源				
評価・課題等	・障害のある方が、福祉サービスを受けるため必要な手帳申請時の診断書料の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	02サービス運営助成事業
細事業名	01 デイサービス運営助成事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
4,437千円		4,437千円	0千円	100.0%
目的	障害や発達の遅れがある児童に対し、療育指導や相談活動を行い、早期に発見し適切な支援を行う事業主体に補助することにより、円滑な事業実施と障害児の福祉向上に努める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	さつき園における通園・保護者支援・訪問活動・外来活動等の事業運営に対し、補助金を交付した。			
	障害児デイサービス事業補助金		4,437千円	
	(事業費)	(自立支援費収入等)	(補助金)	
	27,188千円	- 22,751千円	= 4,437千円	
	・通園事業	利用者数： 81人		
	・訪問活動	訪問数： 163人		
	・外来活動	参加者数： 224人		
主な財源				
評価・課題等	・障害児デイサービス事業者が行う障害の早期発見、適切な療育の実施を支援することにより、発達に遅れのある障害児の社会的自立を推進した。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	03心身障害者扶養共済制度掛金助成事業
細事業名	01 心身障害者扶養共済制度掛金助成事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
809千円		810千円	1千円	99.8%
目的	心身障害者の保護者が加入する京都府心身障害者扶養共済制度について、加入者の経済的負担の軽減を図るとともに、心身障害者の福祉の増進に資するため掛金の一部を助成する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	心身障害者の保護者が納入した京都府心身障害者扶養共済制度の1口目の掛け金のうち、2分の1を助成した。 加入者等が生活保護費を受給したり、住民税所得割が非課税の場合は、京都府規則により全額減免となるため、上記以外の加入者を対象に助成した。			
	心身障害者扶養共済制度掛金助成金		809千円	
	交付時期：毎年9月（4～9月分）及び3月（10～3月分）			
	対象者数：9月交付分・・・17人（交付額・・・389,220円） 3月交付分・・・19人（交付額・・・420,270円）			
	(参考) 京都府の減免額（所得割16万円未満）			
	平成20年度	1/3減免		
	平成21年度	1/3 × 4/5減免		
	平成22年度	1/3 × 3/5減免		
	平成23年度	1/3 × 2/5減免		
	平成24年度	1/3 × 1/5減免		
	平成25年度	国基準額どおり		
主な財源				
評価・課題等	・京都府独自の減免措置がある中で、加入者掛金の2分の1を市で助成することにより、加入者の掛金負担の軽減に努めた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	04共同作業所等入所訓練事業
細事業名	01 共同作業所等入所訓練事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
28,077千円		28,085千円	8千円	99.9%
目的	共同作業所（法定外施設）が行う指導訓練事業に直接必要な対象経費について、補助金を交付する。また、施設に通所している利用者の通所交通費及び給食費の助成を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	就労を目指した職業訓練や生活訓練に必要な経費、また、通所に必要な交通費及び給食費を助成することにより、経済的負担を軽減し、社会参加と訓練の促進に努めた。			
	<p>補助金 28,077千円</p> <p>共同作業所入所訓練事業 20,026千円</p> <p>・ おおみや共同作業所 通所者数 24人、延べ人数 256人（うち加算対象者延べ人数 106人）</p> <p>共同作業所等通所費助成金 2,465千円</p> <p>助成対象：施設通所のために利用する公共交通機関の運賃全額</p> <p>実人数 54人、延べ人数 595人</p> <p>峰山共同作業所、ゆうゆう作業所、みねやま作業所、だるまハウス、四つ葉ハウス、ろむ</p> <p>給食費助成金 5,586千円</p> <p>助成単価：1食につき100円</p> <p>延べ食数 55,859食</p> <p>峰山共同作業所、おおみや共同作業所、ゆうゆう作業所、みねやま作業所、だるまハウス、ろむ、四つ葉ハウス、チューリップ、つばさ、あおぞら</p>			
主な財源	府補	障害者共同作業所入所訓練事業費補助金（1/2）	10,013千円	
評価・課題等	・個人の負担を軽減することで、障害のある方が継続して通所し、適切な訓練を受けることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	06在宅難病患者福祉事業
細事業名	01 在宅難病患者福祉事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
185千円		185千円	0千円	100.0%
目的	在宅の難病患者等に対し、ホームヘルパーの派遣、短期入所事業、日常生活用具の給付を行うことにより、難病患者等の自立の促進、家族等の介護負担を軽減する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	在宅の難病患者等に対し、日常生活用具の給付を行った。			
	<p>在宅難病患者等日常生活用具給付費 185千円</p> <p>・電気式たん吸引器（1件） 52千円</p> <p>・意志伝達装置（1件） 99千円</p> <p>・パルスオキシメーター（1件） 34千円</p>			
主な財源	府補	難病患者等居宅生活支援事業補助金（3/4）	138千円	
評価・課題等	・日常生活用具の給付を行い、難病患者等の自立を支援し、家族などの介護負担を軽減できた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	07障害者等手当支給事業
細事業名	01 障害者等手当支給事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
31,823千円		31,824千円	1千円	99.9%
目的	常時介護を必要とする在宅の重度障害者への手当支給及び重度障害者を自宅で介護している介護者への支援金支給により経済的支援を行い、障害者福祉の向上に努める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給し、また、在宅で重度障害者を介護する家族等への経済的支援策として、市独自制度の介護支援金を支給した。			
	(市独自制度)			
	在宅障害者介護支援金 1,800千円			
	8月支給分 15件(平成22年7月基準日) 1,500千円 3月支給分 3件(平成23年1月基準日) 300千円			
(国制度)				
障害児福祉手当 5,090千円				
手当月額：14,380円 支給人数：延べ354人				
特別障害者手当 24,933千円				
手当月額：26,440円 支給人数：延べ943人				
主な財源	国負 特別障害者手当等給付費負担金(3/4)			22,537千円
評価・課題等	・国制度の特別障害者手当等については在宅重度障害児者、また市独自制度の介護支援金については、在宅で重度障害者を介護する家族等への経済的支援策として実施し、在宅障害児者の福祉向上を図った。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	08じん臓機能障害者通院交通費助成事業
細事業名	01 じん臓機能障害者通院交通費助成事業			決算書 P.138
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
2,811千円		3,015千円	204千円	93.2%
目的	じん臓の機能に障害のある方が慢性透析療法による医療の給付を受けるため、医療機関への通院にかかった交通費について経済的負担の緩和を行うため助成金を交付する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	慢性透析療法を行うため頻りに通院する必要がある障害者の交通費と医療機関通院証明書料の一部を助成し、経済的負担を軽減することにより、福祉の増進に努めた。			
	じん臓機能障害者通院交通費助成 2,538千円			
	公共交通機関での通院にかかる交通費又は片道20kmを超える自家用車での通院実費(25円/km)のいずれかのうち、月10千円を上限としてその1/2を助成する。			
	(内訳)		実人数	助成額
	峰山町	5人	83千円	
	大宮町	9人	338千円	
	網野町	10人	356千円	
	丹後町	5人	159千円	
	弥栄町	1人	45千円	
	久美浜町	27人	1,557千円	
	合計	57人	2,538千円	
医療機関通院証明書料助成 273千円				
助成に必要な医療機関の通院証明書料の取得に対し、1回2千円を上限として助成				
(内訳)		実人数	助成額	
	峰山町	5人	10千円	
	大宮町	8人	23千円	
	網野町	10人	40千円	
	丹後町	5人	20千円	
	弥栄町	1人	1千円	
	久美浜町	27人	179千円	
	合計	56人	273千円	
主な財源				
評価・課題等	・慢性透析療法が必要な方に対しての経済的負担の緩和を行うことで、治療に専念できるよう支援した。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	09障害者福祉施設整備助成事業
細事業名	01 障害者福祉施設整備助成事業			決算書 P.140
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
5,601千円		5,601千円	0千円	100.0%
目的	障害福祉サービスの充実を図るため、市内社会福祉法人が施設整備時に受けた独立行政法人福祉医療機構からの借入金について、元金償還額を助成する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>経営の安定化、市内における障害福祉サービスの充実を図るため、施設整備における借入金の元金償還額を助成した。</p> <p>桃山の里土地借用料助成金（面積：3,710.39㎡） 591千円 知的障害者施設「桃山の里」の土地借用料の助成</p> <p>あみの福祉会施設整備事業借入償還金補助金 3,330千円 施設整備借入金のうち元金償還額の全額補助（平成28年度まで）</p> <p>久美の浜福祉会施設整備事業借入償還金補助金 1,680千円 施設整備借入金のうち元金償還額の全額補助（平成31年度まで）</p>			
主な財源				
評価・課題等	・障害福祉サービスを確保するための施設整備に関わる助成を行い、障害者福祉の充実と円滑な事業運営の支援を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	10障害福祉サービス事業																
細事業名	01 障害福祉サービス事業			決算書 P.140																
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実																
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率																
1,050,526千円		1,050,770千円	244千円	99.9%																
目的	障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスにかかる給付やその他支援を行い、障害者福祉の増進を図る。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、心身の状況や生活環境に応じて、自ら選択した必要な障害福祉サービスにかかる給付やその他の支援を行い、障害者福祉の増進を図るための事業を行った。</p> <p>手数料（支払先：国民健康保険団体連合会） 1,515千円 障害福祉サービス（介護給付費等、療養介護医療分）に係る審査支払手数料 （H22.4～23.3月）</p> <p>負担金及び補助金 21,204千円 サービス利用者に対し、各種の補助要綱に基づく支援を実施した事業所に対する補助金</p> <p>・児童サービス利用支援：381千円 ・施設サービス利用支援：2,646千円 ・通所サービス利用促進：14,963千円 ・短期入所サービス利用支援：336千円ほか 扶助費 1,027,807千円</p> <p>・介護給付費等（負担金関係）：1,017,590千円 ・事業所等への給付（特別対策等）：10,217千円 介護給付費等関係 延べ利用者数（平成23年3月末支給決定者数）</p> <table border="1"> <tr> <td>訪問系(居宅介護等)</td> <td>919人 (121人)</td> <td>施設入所支援</td> <td>666人 (56人)</td> </tr> <tr> <td>日中活動系(介護)</td> <td>1,732人 (145人)</td> <td>共同生活援助・介護</td> <td>632人 (55人)</td> </tr> <tr> <td>日中活動系(訓練)</td> <td>1,226人 (117人)</td> <td>児童デイサービス</td> <td>924人 (91人)</td> </tr> <tr> <td>短期入所</td> <td>193人 (108人)</td> <td>旧法施設支援(更生・授産等)</td> <td>1,717人 (162人)</td> </tr> </table> <p>障害福祉サービス等利用支援費支給事業 福祉サービス（延べ22人）、補装具（延べ11人）、更生医療（延べ285人） 入所者医療（延べ57人） 特別対策事業...事業円滑化給付費 施設経営安定化支援事業：5事業所、新体系移行施設経営安定化事業：1事業所</p>				訪問系(居宅介護等)	919人 (121人)	施設入所支援	666人 (56人)	日中活動系(介護)	1,732人 (145人)	共同生活援助・介護	632人 (55人)	日中活動系(訓練)	1,226人 (117人)	児童デイサービス	924人 (91人)	短期入所	193人 (108人)	旧法施設支援(更生・授産等)	1,717人 (162人)
訪問系(居宅介護等)	919人 (121人)	施設入所支援	666人 (56人)																	
日中活動系(介護)	1,732人 (145人)	共同生活援助・介護	632人 (55人)																	
日中活動系(訓練)	1,226人 (117人)	児童デイサービス	924人 (91人)																	
短期入所	193人 (108人)	旧法施設支援(更生・授産等)	1,717人 (162人)																	
主な財源	国負	介護給付費・訓練等給付費負担金、療養介護医療費負担金（1/2）	527,359千円																	
	府負	介護給付費・訓練等給付費負担金、療養介護医療費負担金（1/4）	254,397千円																	
	府補	障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2）	1,604千円																	
	府補	障害者自立支援対策臨時特例交付金（1/4）	16,804千円																	
	府補	心身障害者サービス利用支援事業費補助金（1/2）	358千円																	
評価・課題等	・障害福祉サービスの利用については、自立支援法の改正により22年4月から住民税非課税世帯において費用負担なく受けることができるようになり、負担軽減を図ることができた。																			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課																			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	11自立支援医療事業	
細事業名	01 自立支援医療事業			決算書 P.140	
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実	
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率	
12,459千円		12,494千円	35千円	99.7%	
目的	身体障害者手帳所持者が障害を除去又は軽減するために、都道府県が指定する医療機関で手術や血液透析を受けた場合、医療費を公費で負担し、福祉の充実を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療給付費の給付及び障害者自立支援法に基づく更生医療対象外の在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成し、受診者の経済的負担の軽減に努めた。				
	自立支援医療給付費		11,378千円		
		障害名	人数	医療給付費	医療の主な内容
	入院	肢体不自由	13	879千円	人工関節置換術等
		心臓	38	7,541千円	ペースメーカー植込術、バイパス術等
		じん臓	10	734千円	血液透析等
		小計	61	9,154千円	
	入院外	肢体不自由	13	11千円	術後の通院
		心臓	38	210千円	術後の通院
		じん臓	24	2,003千円	血液透析等
小計		75	2,224千円		
合計	136	11,378千円			
自立支援医療特別対策事業給付費		1,044千円			
	対象者	人数	医療給付費	対象医療	
	呼吸器機能障害で身体障害者手帳3級保持者	17	1,015千円	在宅酸素療法	
	ぼうこう又は直腸の機能障害で身体障害者手帳3級所持者	1	29千円	ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びSTマ周辺の感染防止等の治療に要する経費	
審査支払事務手数料		37千円			
(国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金へ事務委託)					
主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金(1/2)	3,483千円		
	府負	障害者自立支援医療費負担金(1/4)	2,844千円		
	府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金(1/2)	457千円		
評価・課題等	・医療費の経済的負担の緩和により、障害者本人が安心して治療に専念することができ、障害者の日常生活の向上や社会参加を支援することができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	12補装具事業
細事業名	01 補装具事業			決算書 P.140
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
11,947千円		11,948千円	1千円	99.9%
目的	身体障害児者の身体機能を補完又は代替する補装具(補聴器、車いす等)の交付又は修理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	補装具の給付に係る費用を負担することで、障害者の安定した日常生活や社会生活の維持に努めた。			
	扶助費			
	身体障害児補装具給付費		5,318千円	
	・交付件数	31件	公費負担額	5,002千円
	・修理件数	5件	公費負担額	316千円
	身体障害者補装具給付費		6,629千円	
	・交付件数	69件	公費負担額	5,331千円
	・修理件数	48件	公費負担額	1,298千円
	市民税非課税世帯及び身体障害児分については、市独自施策として自己負担分を全額補助している。			
	主な財源	国負	障害児者補装具給付費負担金(1/2)	6,395千円
府負		障害児者補装具給付費負担金(1/4)	2,986千円	
評価・課題等	・障害者等に身体機能を補完又は代替する補装具を支給することにより、機能障害による生活上の不便さの解消や、身体的条件の改善を図ることに努めた。 ・児童については、自己負担分を市が補助することにより、保護者への負担を軽減することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	13地域生活支援事業																																							
細事業名	01 地域生活支援事業			決算書 P.140																																							
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実																																							
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率																																							
156,652千円		156,895千円	243千円	99.8%																																							
目的	障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制をつくり、障害者福祉の向上を図る。																																										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、様々な事業を実施した。相談支援事業は2事業者に委託し、市内在住の障害のある方から障害福祉サービス利用等の相談に応じた。コミュニケーション支援事業は、手話通訳者を委託事業所に設置するとともに、要約筆記奉仕員等を派遣し、聴覚障害者等の支援を行った。日常生活用具給付等事業は、障害のある方に対し、ストマ装具などの日常生活上の便宜を図るための用具の給付を行った。移動支援事業は7事業者に委託し、屋外での移動が困難な方に対し、外出のための支援を行った。その他、障害者に創作的活動等の場を提供する地域活動支援センター事業、日中活動の場を確保する障害者・児童日中一時支援事業などを実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>決算額</th> <th>件数等(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談支援事業</td> <td>17,200千円</td> <td>相談件数：3,666件</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション支援事業</td> <td>6,604千円</td> <td>通訳等件数：541件</td> </tr> <tr> <td>日常生活用具給付等事業</td> <td>15,369千円</td> <td>交付件数：1,371件</td> </tr> <tr> <td>移動支援事業</td> <td>16,212千円</td> <td>利用時間数：8,178時間</td> </tr> <tr> <td>地域活動支援センター事業</td> <td>50,896千円</td> <td>利用者数：1,256人</td> </tr> <tr> <td>日中一時支援事業</td> <td>37,233千円</td> <td>利用回数：8,871回</td> </tr> <tr> <td>在宅重度訪問入浴サービス事業</td> <td>3,811千円</td> <td>利用回数：306回</td> </tr> <tr> <td>手話・要約筆記奉仕員養成研修事業</td> <td>1,000千円</td> <td>受講者数：21人</td> </tr> <tr> <td>福祉タクシー等利用券交付事業</td> <td>5,973千円</td> <td>交付者数：1,127人</td> </tr> <tr> <td>住宅改修費助成事業</td> <td>594千円</td> <td>助成件数：6件</td> </tr> <tr> <td>自動車改造費・免許取得助成事業</td> <td>600千円</td> <td>交付者数：6人</td> </tr> <tr> <td>福祉ホーム事業、社会復帰教室など</td> <td>1,160千円</td> <td>報償費、需用費、使用料など</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	決算額	件数等(延べ)	相談支援事業	17,200千円	相談件数：3,666件	コミュニケーション支援事業	6,604千円	通訳等件数：541件	日常生活用具給付等事業	15,369千円	交付件数：1,371件	移動支援事業	16,212千円	利用時間数：8,178時間	地域活動支援センター事業	50,896千円	利用者数：1,256人	日中一時支援事業	37,233千円	利用回数：8,871回	在宅重度訪問入浴サービス事業	3,811千円	利用回数：306回	手話・要約筆記奉仕員養成研修事業	1,000千円	受講者数：21人	福祉タクシー等利用券交付事業	5,973千円	交付者数：1,127人	住宅改修費助成事業	594千円	助成件数：6件	自動車改造費・免許取得助成事業	600千円	交付者数：6人	福祉ホーム事業、社会復帰教室など	1,160千円	報償費、需用費、使用料など
事業名	決算額	件数等(延べ)																																									
相談支援事業	17,200千円	相談件数：3,666件																																									
コミュニケーション支援事業	6,604千円	通訳等件数：541件																																									
日常生活用具給付等事業	15,369千円	交付件数：1,371件																																									
移動支援事業	16,212千円	利用時間数：8,178時間																																									
地域活動支援センター事業	50,896千円	利用者数：1,256人																																									
日中一時支援事業	37,233千円	利用回数：8,871回																																									
在宅重度訪問入浴サービス事業	3,811千円	利用回数：306回																																									
手話・要約筆記奉仕員養成研修事業	1,000千円	受講者数：21人																																									
福祉タクシー等利用券交付事業	5,973千円	交付者数：1,127人																																									
住宅改修費助成事業	594千円	助成件数：6件																																									
自動車改造費・免許取得助成事業	600千円	交付者数：6人																																									
福祉ホーム事業、社会復帰教室など	1,160千円	報償費、需用費、使用料など																																									
主な財源	国補 障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	46,397千円																																									
	府補 障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	23,198千円																																									
評価・課題等	<p>・相談支援事業をはじめ、事業を社会福祉法人に委託するものが主であり、受け皿となる法人への働きかけ等を通して、増加する利用ニーズに対応し、福祉サービスの推進に努めた。</p>																																										
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課																																										

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	15障害者就労支援事業
細事業名	01 障害者就労支援事業			決算書 P.142
総合計画	基本方針	健やか安心都市	計画項目	共に生きる障害者福祉の充実
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
3,335千円		3,337千円	2千円	99.9%
目的	障害者の自立と社会参加の促進を図り、障害者の就労を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>障害のある方が就労できるよう就労支援相談員を配置し、就労促進とその定着に向けた支援を行った。また、就労に積極的に取り組んだ企業や法人に対して奨励金等を支給し、就労先の拡大に取り組んだ。 京都府事業の自立支援協議会運営強化事業を実施し、就労における地域課題の検討に取り組んだ。</p> <p>障害者就労支援事業委託料 2,100千円 よさのうみ福祉会へ事業委託し、就労支援準備講座を開催した。 ・知的障害者対象...10回開催、受講者6人 ・精神障害者対象...10回開催、受講者5人</p> <p>障害者短期職場実習委託料 200千円 よさのうみ福祉会へ事業委託し、5人の方に職場実習を提供した。</p> <p>障害者職場実習促進事業補助金 264千円 4人の方の就労実習を受け入れた4企業と、実習先を開拓した2施設に奨励金を支給した。</p> <p>障害者雇用促進事業補助金 540千円 特定就職困難者雇用開発助成事業から継続し雇用した3企業に対して奨励金を支給した。</p> <p>その他 231千円 自立支援協議会運営強化事業で研修や講演会、先進地視察を実施した。 ・ホームヘルパー現任研修会の開催(平成22年11月12日) ・「働く」をテーマにした就労支援講演会(平成23年1月21日) ・先進地視察(株式会社 オムロンの特例子会社 平成23年2月17日)</p>			
主な財源	府補 障害者自立支援対策臨時特例交付金	227千円		
	府補 未来づくり交付金(障害者就労支援事業)	1,300千円		
評価・課題等	<p>・事業の活用により、障害のある方の就労意欲の促進と就労先の拡大を図ることができた。 ・平成22年度より、市内に障害者就業・生活支援センターが開所され、就労支援事業の更なる充実が期待できる。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部 / 障害者福祉課			